

地域医療構想策定に係る各病院との意見交換について（結果）

1 目的

地域医療構想策定のため、平成 28 年 1 月に実施した入院患者実態調査と併せ各病院の実情を把握することを目的に各病院との意見交換を実施。

2 対象病院

病床機能報告制度対象の 158 病院

3 実施方法

- (1) 期間：平成 28 年 1 月～ 4 月
- (2) 場所：京都府庁、保健所、病院

4 主な結果

- (1) 病床機能転換予定ありの病院割合：32%
- (2) 休床中ありの病院数：31 病院
- (3) 療養病床有りの病院数：63 病院
- (4) 療養病床有りの病院における制度廃止後の検討状況
 - ・有：32%
 - ・無：68%
- (5) 療養病床入院患者における「医療区分 1 の者」の在宅対応での不可の病院割合
 - ・可能：13%
 - ・条件付可能：17%
 - ・不可能：70%
- (6) 療養病床入院患者における「医療区分 1 の者」の在宅対応での不可の患者割合
 - ・医療療養病床：77%
 - ・介護療養病床：74%

（不可能と回答した主な意見）

- 実際の受皿は難しいのではないかと。訪問診療・訪問看護など在宅医療に取り組む医師・看護師が限られている。
- 認知症により、介護の必要度が高い。
- 家族の受入体制が必要。
- 医療的ケア(胃ろう等の管理)が必要な患者がいる。
- ADL点数の高い患者(生活自立度が低い)の在宅移行は困難。